

Miku la Chic

スケッチ #3

From the Last Six 'Bagatelles Op.126'

Ciclus von Kleinigkeiten ... Andante Cantabile e Grazioso, Es-Dur ...

Op.2

作曲 ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
Ludvig van Beethoven 1770-1827 1825 年頃

— 創作日本語歌詞による —
2021 年 11 月 9 日 β 3 版

く お ぞら
暮れ落ちる あかね空

し ひと むつ
知らず 人の睦む ぬくもり

うた かみ は あした
謳え 神さびる 愛しき朝

ひそ ねむ はらから み
顰み 眠る 同胞を見よ

さざ たゆ た
細れて 揺蕩う

おも で やぶ かぜ かす
想い出 破れ 風に 霞むとも…

ああ…

◎制作ノート

いまここに、温かげにあかく染まっているこの夕焼けは、だんだんと暗くなって冷えていくこの空気のなかで、親しい人たちが睦まじげに暮しているのを知らない。

神代の時代から繰り返され、崇められてきたこの落陽や朝日も、いまこのとき、悩ましげな顔をして眠っている人とそれを見守る人が掛け合っている心のうちなど知らない。

どんな思い出も、この雲のようにだんだんと細かく切れ切れになってしまい、その夕間暮れの空気のように霞んでいってしまうものだということを、この茜空は知らない。